

平成27年

# 能 泉 涌 流 多 喜

第六十七回

平成二十七年四月十一日(土) 一時始

竹生島

高林 呻二

高林 昌司

因幡堂 茂山七五三

東北

高林 白牛口二

主催 高吟会



芸術文化振興基金助成事業

## 大江能楽堂

京都市中京区押小路通柳馬場東入ル 電話 075-231-7625

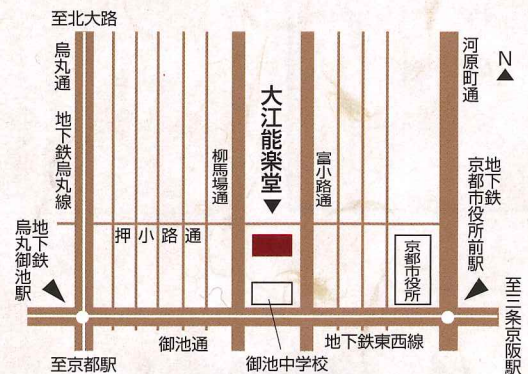
入場料 前売 7,000円 学生券 3,000円  
当日 8,000円 全席自由席

問合せ 〒603-8354 京都市北区等持院西町15 高吟会

電話075-462-1490 FAX.075-463-3494

E-mail koginkai@f3.dion.ne.jp

URL <http://www.f3.dion.ne.jp/~koginkai/>



地下鉄「烏丸御池」または「京都市役所前」下車。徒歩約10分。

動静以天地  
視哉涌泉美  
鈿之翁

涌泉能番組

高林昌司  
高林呻二

竹生島

中村宜成  
王知登成  
江崎欽次朗  
島田洋海  
河村大前川光長  
曾和尚靖杉市和

因幡堂  
茂山七五三  
丸石やすし

休憩二十分

東北

高林白牛口二  
江崎本義昭  
和欽基英  
松本義昭  
谷口正壽  
森田保美

附祝言

### 「能」の秘密 (その一)

「能」とは一般的に云って何でしょうか。それは観阿弥・世阿弥父子がその頃の要人の娯楽のために、世上に流布していた芸能を集大成させて作り上げた、仮面を使用する歌劇の一種と既定されています。しかし、それだけでは解決の出来ない様々な疑問が生じます。第一に如何なる時も摺り足なのは何故でしょうか。第二に無表情の代名詞とされている能面を使うのは何故でしょうか。この二つの疑問を解き明かして「能」の特異性と原点を究める必要があります。

凡そ芸能の原点は何から起こっているのでしょうか。現世には科学では説くことの出来ない、宇宙森羅万象を司る絶対者の存在があります。これは仏教でも基督教でも神道でも同じですが、それらを全て含めて人間の知識を超越した絶対者の存在があります。これを仮に「信の神(マコトノカミ)」と名付けます。人類は発生の時よりこの「信の神」の存在を信じてきました。与えられた恩恵に対して、報恩の気持ちを表示するために、歌を歌い舞を舞って、「信の神」に感謝の念を伝えることが、芸能の起源です。「能」も芸能の一つです。但し大切な事は「能」の起源は「翁」にあると云うことです。一般に「翁は能にして能にあらずと」よく言われますが、これは何を意味しているのでしょうか。本来は「翁」が「能」の第一の眼目なのです。そして「高砂」以下の曲は「後宴の能」と云い、儀式の余分なのです。

「翁」は原始宗教の儀式なのです。演ずると云う気持ちは一切不要であり不可なのです。その「翁」から派生した芸能ですから摺り足なのです。人類が敬虔な気持ちになると、必然的に摺り足になるのです。「能」の型には凡そ表情・演技に無関係な型が、基本的に随所に使われています。それらの型は全て「翁」の根本にある所作すなわち礼拝(ライハイ)から始まっているからです。例えば「シカケ・ヒラキ」は達揮を基としていますし、「左右・シトメ」は両袖の露を払って礼拝をする型が基となっています。何れも「翁」の基本の型です。

### 次回予告

六浦 高林昌司  
隅田川 高林呻二

平成二十七年十一月七日(土)

主催

高吟会

許可なく写真撮影録音録画は、堅くお断り致します。携帯電話 ポケットベル 時計のアラームは、予めお切り下さい。